

品川支部

平成31年2月1日発行
〒141-0022
品川区東五反田1-8-5
TEL 3442-7075

2月

天理教品川支部（豊英分教会内） 発行責任者 栗原薫 編集 支部編集部

本部おせち賑やかに・・・ 来年は是非行きましょう

*高校生等の給仕で三日で十万人近い人にお雑煮が振る舞われる。勿論無料です



振る舞われるだし汁は
46530リットル

42トンの切り餅になります
刃渡り1mの押し切りで切ります



↑ 最大80cm30kgの物もある鏡餅

☆支部行事のお知らせ

・支部幹事会

二月九日(土)午後六時〜都南にて

・教区ひのきしん

櫻京組です、五日にお願いいたします

・神名流し

一日、午前十時から大井町西口ロータリー

・在宅センターひのきしん

二月二十七日(水)午前九時半〜

・支部例会

二月二十八日は豊英分教会での例会になりました。

当初、三ツ木分教会での開催予定でしたが
神殿普請の為の変更です。今年中にも
新しい神殿が見られる予定だそうです

☆教務支庁からのお知らせ

・教区長次期継続決定

教区・支部では三年の任期で役職が決めますが、先駆けて、浅草大教会長 宮内先生の来期の教区長再任が決定されました。支部役職は二月までに決まる事になります

・ペターハーフ(出会いの会)

男性は定員に近く成りましたが女性はまだまだ余裕があるそうです。対象者の登録をお願いいたします

立教百八十二年東京教区創立記念祭

例年四月四日の十時半に創立記念祭が催されていますが、今年には布教の家建築の為の起工式が行われますので、例年より三十分早めの開式となります。
各支部からの模範店等は同等にされますが、建築現場が大きく囲われていまして、会場が少し狭くなる予定です。

本部修理人巡教

各教会には、およそ三年に一度本部の先生による巡教がなされます。全ての教会に直接訪問して、それぞれの教会の困っているところ、等聞いて頂き、お話を伺います。
一月は、豊英、鶴平、本大崎、水豊田、本早川、三ツ木の六カ所巡教して頂きました。
今月は六日より三日間では本品原、本月井、本品、本園、都南、南泰成東を予定しております
巡教されます先生は、本部准員 真柱室の深谷忠弘先生です。
実情を聞いて頂き、又、勇んでおつとめ出来ませうお話し頂きたいと思っております

婦人会より

来年の婦人会創立百十周年向け決起大会等が各地区で始まりますこの近辺では六月に開催されますので参加のほどお願いいたします

拠点教会	3日号	10日号	17日号	24日号
日本橋	手配り	手配り	手配り	手配り
本 荏	手配り	手配り	手配り	手配り
南 泰	手配り	手配り	手配り	直 送
三ツ木	手配り	手配り	手配り	手配り
水豊田	手配り	手配り	手配り	手配り

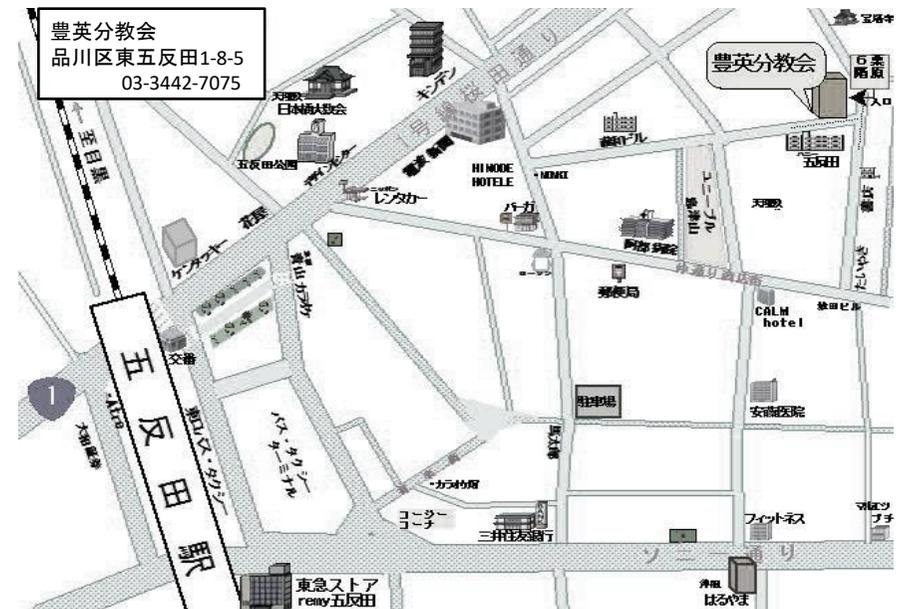
※川口S1
ヤ

品川支部例会

平成31年 2月28日 (木) 11時開始

場所 豊英分教会

座りづとめ よろづよ八首 二下目 東京教区、支部連絡事項 当該栗原教会長挨拶 昼食の用意頂いてます *各教会の方のほかどなたでも (白足袋ハッピー着用)



成ってくるのが天の理

日倉分教会長



成ってくるのが天の理、天の理なればすぐと受け取り、すぐと返すが一つの理、このおかきさげの一節が私の座右の銘である。平成十七年に胃癌の宣告を受け、入院手術と言う事になり、ベットの上で毎日座りづとめをして「おふでさき」の拝読をさせて頂いた中で、

このたびのなやみているをやまいとをもっているの(これハちがうで
こればかりやまいなぞとハをもうなよ月日ぢうよふしらしたいゆへ
なにもかもとのよな事もしらするハさきのをもわくあるからの事

このおふでさき、十一号25く27のお歌を拝読した時に、親神様の親心に触れた事を感じ「成ってくるのが天の理」を体感した一瞬でした。

この身上は私の人生の先々に、いろいろお助けに携る時に、先の楽しみがあるから、この病は神様からのお知らせであって、決して因縁だとか、心得違いで罰が当たったのではない、神様に用木としての使命を頂いたのだから、喜んで受け入れる心が大切なのだと思える様になり、手術後を楽しめる心になれたのです。

又、九州の信者さんから、午後八時半頃に電話が掛かってきて、

「姪が腸捻転で苦しんでいるので、お助けに来て欲しい」

との事ですが、「もう新幹線も飛行機もないので、行けないから、貴方もよぶべくなのだから、おさづけをさせて貰いなさい。」と言ったら、

「まだやった事がない」との事で、どうしようかと思つた時に「成ってくるのが天の理」今何をすべきかと考えて、お願いづとめなら出来ると思ひ、九時になったら、姪ごさんの手を握って「南無天理王命」を三十回唱えなさい、東京でお願いづとめをしているから大丈夫だから安心しているように

と伝え、大教会の神殿で夫婦揃ってお願いづとめをさせて頂き、九時半頃に九州から電話が有り、

姪が静かに眠りましたとの連絡があり、一安心した。「成ってくるのが天の理」

なんだ、人間の思案で考えるよりも、実行したことを神様が受け取って下さったのだから、喜んで通る事の大切さを実感させて頂いた事を、今思い出してこれからもしっかりと陽気ぐらしの世を目指して通らせて頂こうと思つて居る所です。

そして次の日に又電話が有り、
「姪の腸捻転が医者のお診ではないかと思う程に、元に戻っているの、もう心配はいらないと言っているの、安心しました。先生ありがとうございました。」との事でした。

斎藤衛彦

